

# 高退協ニュース

高知高退協  
事務局  
No.172

2011年  
9月6日

〒780-0850

高知県高等学校  
退職教職員協議会  
高知市丸の内2丁目1番10  
高知城ホール高教組気付  
Tel 08850822516822  
郵便振替口座 0165052511893

2011 高退協

## 夏季学習会

- ・ユーモアたっぷり自己表現
- ・ボランティアの体験から

恒例の高退協学習会が8月23日高知城ホールで42名の参加で行われました。講師の川村かつ枝さんは、「自己表現のたのしさ」と題し、アングスの民族楽器ケーナの実演をまじえ、さをり織りの美しさ、魅力を実物を提



夏季学習会でケーナ演奏する川村かつ枝さん

示しながらユーモアたっぷり、元気に語りかけました。ケーナさをり織りに挑戦する人がでてくるのではないでしょうか。

橋元陽一さんは、被災地にボランティアにはいった体験をもとに報告されました。福島の実態写真を交えながら、被災者の悲痛な思いに真に寄りそうボランティアの困難さを語りました。そして、被災地・被災者を支援するということは、とりもなおさず私たち自身の生活、生き方に改めて思いをさせ、日本という国のあり方を考えることではないかと結びました。学習会後の懇親会は27名の参加でした。

いつまでも

三池の火よ

### 飲水思源

横田 慧

六十年安保闘争の年に、三池炭坑の「合理化」反対闘争が九カ月を超す大争議となりました。高知県からも三池炭坑労働者支援のために多くの労働者が派遣されました。私も、その中の一人として

参加しましたが、いっしょに行った仲間、医療労働者、紙パルプ、運輸、全日自労、銀行員、教員と多彩でした。私たちが行く少し前には三池の労働者が襲われて大けがをしたり、一人殺害されました。私たち支援隊の者も大きなジャンパーを着て、週刊誌を何冊も腹周りに入れておくようにと言われました。

実際に行つてからは、穏やかなときで、デモと一緒にするときは、住宅街で労働者の家族と交流する日々でした。そのうちに、私は荒木栄の楽譜を見つけ、音符をたどつてみると、聞いたこともない曲なのにいっぺんで気に入りました。高知では、「がんばろう」や「燃やせ闘魂」を聞いていましたが、こんなに荒木栄の曲があったとは！

そのうちに、おかみさんたちが、自分たちも知らない曲だから教えると言います。いまでは題もほとんど忘れましたが、「三池の子守歌」などを次々に教えて喜ばれました。一緒に行った仲間からは、「横田ひつとり女にもてゆう」とひやかされました。

そのうちに、私が気になりだしたのですが、どの歌も歌詞は勇ましいのですが、メロディーが悲しいのです。調でもありません。しかも、おかみさんが何度か歌つてくると、深い悲しみを覚えるのです。それは、表向きの勇ましさとちがって、国家権力を相手に闘っている厳しさをリアルにとらえた感性であり、荒木栄もそこを敏感に受けとつたのでしよう。

「雨の降る夜はつらがるね、ホッパ一睨んで夜明けまで」とお父をいたわる一番に始まる「三池の子守歌」は、いまも私の口をふとついで出ます。その最後は「燃える三池の火の柱、広がれ国の隅々に、母ちゃんたちの正しさが、勝利の朝を呼んでいる、眠れ坊やよ安らかに」です。半世紀を超してなお、私は涙します。高知に帰つてからは、誰もが、「三池の争議はすごかった」と言いました。私も会う人ごとに、国家権力相手に全国労働者が支援する大争議のすごさを語りました。そのうちに、団長であった虎さん「故岡村虎彦さん」が、いまの合理化は一時的なものではない。高知にもどう現れているかを告発し、闘わなければならぬと論じてくれました。このエピソードを、私の生涯の師・虎さんを送る弔辞に挿ませてもらいました。私の大切な人がまた去りました。

### 機関誌「こうたいきょう」 原稿募集 今号は、防災特集

南海地震・台風災害・集中豪雨など、思うこと、訴えたいこと、防災のあり方を含めて何でも書いて下さい。

随筆、自由論文、紀行文、短歌、俳句、川柳、詩、追悼文、活動報告、近況報告なども募集しています。

字数：特集3000～4000字程度  
特集以外の原稿は3000字以内  
原稿締切：11月10日  
送り先：高知高教組気付

### 委員長の夏休み

米満 敏孝

この夏、高教組では、広島・母親大会、長崎・原水爆禁止世界大会、千葉・教育の集い、四万十楽舎・夏季学習会等々様々な取り組みがあったが、私は、高文祭での福島への生徒引率出張の後、妻と二人で日本を脱出した。空路ヘルシンキ経由チエコのプラハへ。

チエスキーやオロモウツの街を鉄道で巡り、ポーランドの古都クラフクからワルシャワへ。ヘルシンキから帰国。

毎日、広場のオープンカフェや醸造所のレストランでビールを飲んだ。0.5Lの生ビールが1200〜1700円。0.5Lのミネラルウォーターが85円前後であるからビールは安い。チエコの人はビール好き

### 田芋讚 (その2)

窪田一郎

土佐山田町の友人が、一町近く田芋を作っており収穫時には、畑をまるごと業者に売っています。その友人の田芋談義を紹介します。

植え方・畝をU字形に掘り底が溝と同じ深さにする。そこに肥料(鶏糞など)を十分施す。5センチぐらい土をかけて1週間程度置く。種芋(後術の芽でもよい)を適当な間隔に植える。後は芽の伸びるに従い土寄せ、最後は畝に仕上げる。

6・7月の追肥、7・8・9月の乾燥に注意すること。

親芋の利用① 親芋の大きな品種は、上3分の1が非常に美味しいところ。そのまま煮てもよいが、すりおろして、良質の魚のすり身と合わせると絶品(つく

で、昼間から飲んでい。私たちも同化した。枝豆や冷や奴があれば最高ののだが、マス、サケ、タラ、コイなどの魚料理やサラダをつまみに飲んだ。高知の人たちも、昼間から酒を飲む人が多いが、飲めるのは葉牡丹や赤のれん、ひろめ市場ぐらいいだ。土佐のお客以外の土日でも、大橋通や帯屋町商店街で商店で買ったメヒカリ、うるめ、ニロギなど干物や魚介類、肉を七輪で焼いて飲めるカフェができたらいと思いがながら飲んだ。広場では、大道芸人たちが、楽器を奏でたり、マリオネットを操ったり、巨大シャボン玉をついたり、様々なパフォーマンスが行われている。大道芸人のパフォーマンスをバックミュージックにしてビールを飲むのが楽しい。パフォーマンス自体も楽しい

ね・山芋とあわせてもよい。煮る、揚げる、炒める、焼く、いずれでもなかなかのもの。

親芋の利用② 右の大きな親芋の下3分の2、小さい親芋の品種はそのまま、縦半分に切る。これを切り口を下にして耕した畑に伏せる。土は5センチくらい。しばらくすると芽がたくさん出てくる。この芽を1芽ずつ縦に割って種芋と同じように植え付ける。種芋よりやや遅れるが立派な株に育つ。なによりいいのは前年の小芋をすべて食べられること。ただし、親芋の冬越しには十分な注意が必要。

ずいき・市で売っているような立派なものには素人には無理。私は田芋の茎を30センチに切って皮を剥ぎ、さらに長さ10センチ幅2センチの短冊形の物

が、見ている子どもたちを見るのもおもしろい。特にプレスリーの曲の演奏では、2、3歳の子どもがノリノリになってダンスをはじめめる。

今回の旅の目的は、ビールだけではない。第二次世界大戦中ナチス・ドイツがポーランドを侵略した際、オシフィエンチムにつくったアウシュヴィッツ強制収容所(アウシュヴィッツIIビルケナウ国立博物館)の見学もその1つ。1940年ポーランドの政治犯を収容するためにつくられたが、その後5年間でユダヤ人、ロマ、同性愛者、ソ連軍捕虜を収容し、その数は少なくとも130万人、生き残った人は10%に過ぎないという。連行された人々は、医者の判断で「働けるもの」と「働けないもの」に分けられ、「働ける

を干す。

これで年中重宝している。田芋の品種は問わずどんな品種でもOK。

### 初月農園だより (白菜)

島本 聡

土佐神社の「しなね祭り」がくると、周りの農家では一斉に種まきがはじまる。白菜、キャベツ、ほうれん草、小松菜、大根、かぶ、人参、ごぼう、など。この常食野菜の中で、無農薬有機栽培では、難易度が高くなるのが白菜である。

10年ほど作るのだが、いまだ満足に育てたことがない。

白菜は、虫にとっても大変美味いらしく、10数種類の害虫がいるが、その中でベスト3をあげると、まずアブラムシ、白菜のまわりを蟻が慌ただしく上下していれば間違いなくアブラムシがとりついている。牛乳、木酢、食酢などをかけるが、効き目がでない。

もの」は、死ぬまで働かされ、「働けないもの」はガス室へ送られた。この巨大な殺人システムがどのようにして生まれ、どのように運営されてきたのか。日本人ガイド中谷剛さんによって案内してもらった。中谷さんは「ナチスが犯罪者だが、この行為を許した多くの「傍観者」の責任も大きい」という言葉が印象に残った。

### 家庭菜園懇談会 #7

日時 9月15日(木) pm2時より  
場所 セルフィーユ2階(プリコ吉田店西)

\*田村さんが「今年は、退職記念に植樹したブルーベリーが沢山なってきた」と容器に溢れるように持ってきてくれました。

たくさんとりついている葉を、着物を脱ぐように、1枚1枚のけていくと、残るのはわずか。素っ裸だ。しん食虫。夜盗蛾の幼虫と思うが、やっとなきはじめた白菜の中心をかじる。白菜はプロッコリーなどと違い、再生不可能であり、ご臨終です。本百姓さんに対策聴くと「地面に粒状の薬剤をまいてから、植えるよ。」とのアドバイス。私が...

青虫。モンシロチョウの幼虫で、葉に穴をあけ、ぱりぱりと食べる、黒い糞があればかならず1匹以上はいるので、葉の中に潜んでいる幼虫を摘みだそう。毎日狩猟をしている気分です。たくさんとれると嬉しくなる。

標記の会に10数年振りレポート参加。全体会は、1700名の参加で中西新太郎(横浜市立大)の講演「いま子どもとともに社会をつくる」(歴史の分岐点に立って)で始まり3日間29分科会で実践交流が行われました。講演では、3・11の「経験したことのない災害」から「日本の社会をどうするのか」の視点で、現実の中での教育の課題を明らかにすることが重要であることが提起されました。

私の参加した分科会は、「学校づくりへの子ども参加、父母・教職員・地域の共同」で「大震災・原発事故から見えてきた学校づくりの新しい課題」を基調として実践交流が行われました。発表の中から特徴的なものを報告します。福島県南相馬市原町第一小学校の報告では、「戦後の焼け野原のような」状況から「何ができるのか」大きな無力感からのスタート。人口7万人が2万人になった南相馬市で前を向けない状況が続いていることが報告され、そうした中で子どもの不安や怖れ苦しみを分かってあげるところから取り組み始め、今は少しだけ学校生活が落ち着いてきた。しかし、教員の人事異動では、震災によって3/31を8/1まで変更したものの、現場の実態にそぐわない「心のケア」と称した教員定数法による異動命令で子どもへの思い

や願いがくみ取れない状況となつている。大震災によってこれまでの構造化されたシステムが破綻し新しい取り組みができる可能性が広がっているが「大震災をカンフル材にする」と3年経てばもとに戻る「可能性が大で、今後の活動が大変重要になつてくる事が論議されました。

千葉県習志野市の「習志野市八千代市 教育と子どもを語る市民集会」の取り組みでは、参加費一人500円を徴収し参加者は300〜500名。財政面でも組合から独立し、分科会も多く市民が参加したくなる内容にして実行委員会で運営している事が報告されました。高知県も実行委員会形式にはなつていないけど実態はまだまだ組合主体、是非参考にして欲しいものと思えます。

高知県からは、「授業改善の取り組み」で私と卒業生(高知工業)の報告。「授業が変れば学校が変わる」を合い言葉に、年4回の公開授業(参観・管理職・保護者・中学校教員・同僚)や授業アンケート(生徒の授業に対する要求を教員へ伝える)、生徒の授業目標設定とその到達度など授業改善を教師と生徒の両者で創る取り組みを発表しました。授業改善を生徒・教員で行っていることが高く評価され注目を集めました。



子どもたちにより良い教科書を

こどもと教科書ネット21 四国ブロック学習会が、高教組・子連などの共催でソールで開かれた。講師は、教科書ネット事務局長の儀義文さん。家永教科書裁判を引き継ぎ運動を続けている。

教科書裁判は2万7千人で支えた、教科書ネットは、3千人の会員である。高知県は10名。高退協も、団体加入して運動を支えたいものだ。県教組の組合専従が18名から5名に減少、組織的、財政的困難を、退職者が民主的

教育を少しでも推進できるよう役立ちたい。「子どもに読めない育鵬社版・自由社版教科書」100円パンフを、普及し、歴史をわい曲し、日本国憲法を敬視する教科書の内容を知ることから、運動に参加できれば。

教科書ネット学習会は、37名の参加で、高退協から3名であった。これらの学習会は、2カ月に1回のニュースでは、困難だが、メモ的の良いので、会員に知らせれば、参加者も増えるだろう。w

主な活動と参加(活動日誌)

- 七月
- 五日 高退協ニュース七月号発行・第三回事務局会議
- 八日 県高連連幹事会
- 八日 第28回平和映画祭第1弾
- 九日 第五十七回原水爆禁止四国大会 新居浜市
- 十日 第二十八回反核平和コンサート
- 十二日 革新懇代表世話人会
- 十四日 家庭菜園懇談会#6
- 十四日 革新県民連合幹事会
- 二十五日 高退協囲碁大会
- 二十五日 8・15戦争を語りつぐついで実行委員会
- 二十六日 講演「くらしに憲法生かそう」人権のはじまりとこれから
- 二十八日 第28回 平和映画祭 第2弾「無言館」
- 二十八日 第28回平和美術展
- 三十日 全国障害者問題研究会第45回全国大会
- 三十日 第57回日本母親大会

八月

- 二日 第四回事務局会議
- 三日 第三回原水爆禁止世界大会(広島長崎)
- 九日 革新懇代表世話人会
- 十二日 県高連連幹事会
- 十五日 8・15戦争を語りつぐついで
- 十五日 後期高齢者医療制度の即時廃止を求める夕涼み集会
- 二十一日 掩体コンサート
- 二十三日 高退協夏季学習会
- 二十三日 高退協ニュース月号原稿締め切り
- 二十五日 高退協ニュース月号編集委員会
- 三十日 高退協ニュース月号

九月

- 二日 社会保障講座(30日)
- 六日 ペンシャワール写真展
- 六日 アフガニスタン現地報告
- 六日 高退協ニュース月号号
- 六日 高退協ニュース月号号
- 六日 高退協ニュース月号号



この紙面のカットは、八並聖子さんに寄稿していただきました。

橋元陽一

半年間で七町村を回り、出会う方々から、いろいろな要求、声を県政に届けていくためには記録していかねばと思い、小さなノートとボールペンを準備し、必ずメモをとるようにしました。同行して下さる方が挨拶をされた後、紹介していただき、仕事や日常生活に関わることでの県政、国政への不満・要求をお聞きしていきます。一軒で四、五分のときもあれば、三〇分以上かかることもありましたが、上かかるときもありました。表札を一目してお名前を記録したり、歩きながらメモしたりなど、さりげなく記録するのも慣れるまで大変でした。

ついでや地元議員さんへの相談や要求が出される場面では、傍で聞きながらメモしていきました。昨年九月二十八日に決意して一〇月八日からあいさつ回りで動き出してから投票日まで記録した大学ノートは、七冊になりました。県議会であたかう力になると確信しています。

一方、あいさつ回りをしている中で、少なくとも方から「共産党でなければ勝てるのにならう」と言われてきました。しか

し七町村で一緒に動いてくださる方々が、地域での日常的な繋がりを通して信頼されていることを目の当たりにする度に、共産党公認候補として立候補してよかったです。佐川では党派を超えた女性の会が二月に組織され、仁淀川筋の町村を中心にエネルギーで創造的草の根的な活動を展開していただきました。候補者を連れてあいさつ回りをするのは初めてだと言いつつも、ワイワイ言いながら楽しんで動き回っていただきました。半世紀にわたって繰り返されてきた高岡郡選挙区での共産党県議実現をめざすたかへの熱い期待に、何とでも応えていく決意をして駆け廻りました。こうした中、三月一日に起きた東日本大震災がもたらした想像を絶する地震・津波の自然災害と、原発の放射能汚染による被害で、国の政治・経済、エネルギー政策を根本的に問い直していくために、一斉地方選挙の争点がさらに明確になりました。

### 俳句

六月十八日 土曜  
高知城周辺

夏座敷文机一つ在るばかり  
雨を得ていよよ真白に半夏生

合田 青幹

梅雨寒や学友何処時計台  
板垣像指さす日本梅雨の關

吉本 伸秋

武者窓や大欠伸する雨蛙  
葉桜や黙して仰ぐ不戦の碑

中内 英明

音たてて泰山木の花崩れ

いと小さき齋の花の盛りかな

小笠原さちを

中庭の明るき雨や額の花

又一人加はる雨の端居かな

七月一六日 土曜

中土佐町 上ノ加江

合田 青幹

海神の守る一湾夏来る

三伏に耐えて集ひし一会かな

小笠原さちを

纜の突つ張り弛む南吹く

白南風や一舟残す忘れ潮



2008年7月9日  
オモダケ

たんぼぼの章③

小澤 幸泉

夏祭り見知り顔が

まぶしすぎ

手持ち時間まだあるよう

今日終わる

ブランコがゆれて夜明けの

恋実る

残り火を消さないままに

時が過ぎ

もの言わぬただひと言で

今日が暮れ

### 短歌

肺炎癒ゆ

山本晶子

五年間通院せしか倉敷の川崎医  
大付属病院

吾がいのち救いてくれし尾長谷  
先生 握手をしたり今日でお別  
れ

再びは見る事なからん病院の  
櫓の木見ればこみあぐる思い

納涼花火大会の一発一発

榊原忠彦

短歌好む妻でありしが弔いの後  
で見つけぬ歌稿千余首

読み聞かせ妻と楽しみし「下流  
の宴」テレビドラマ化せるを話  
せぬは悲し

豪華絢爛最高の場所で見ると  
妻に見せばや一発一発

(八月九日高知市上町三丁目ウエルライフ  
の展望ロビーにて)

白内障手術

叶岡淑子

七十余年世を見つづけし水晶体  
いつしか濁り手術日迎う

オペ中に地震に遭いしも多から  
ん東北びとに想い馳せたり

人工のレンズなれども吾が眼に  
て核なき世界を見たしと願う



7~8月  
ヤマエリ

南国の祈りに生きた

海が荒れ

飼い猫をクーと呼び合ふ

老いの午後

老眼鏡忘れた旅が

長すぎる

サインペン私の老後

描けますか

長老の視座にカラスが

みえかくれ

三十五の思い出 其の十二

山形 山寺 立石寺

松山 和雄

みどり濃い木樹が車窓に迫  
っては離れてゆく。仙台を出  
てモダンな住宅の建つ丘陵部  
を抜けてまもなく、山深い溪  
谷を列車は走る。溪流を右に  
左に移してしばらく走ると、  
列車はその名も「山寺駅」と  
いう小さな駅に停まる。改札  
を出て正面の山を大きく見上  
げれば、頂に近いところに小  
さなお堂がぼつんと立ってい  
る。

駅前の街道を折れて小ぶり  
な山門をくぐると、境内は木  
樹の陰となりヒンヤリと涼し  
い。手水舎で手と口を清め右  
に折れると、いよいよ奥の院  
までの千段余の登りが始まる。  
石段は木立に覆われ、さらに  
その木立に大きくかぶさって  
岩壁がそそり立つ。木立のあ  
ちこちからは、この時期のリ  
ードヴォーカルになったつく  
つく法師のなき声が間合いを  
取って聞こえている。

吹き出る汗をハンカチでぬ  
ぐいながら上り詰めたところ  
に本堂があり、さらに左に折  
れ少し登ると断崖の上に巧妙  
に立てられた懸崖つくりのお  
堂が立っている。高欄に身体  
をあずけて覗き見ると、四方

を山に囲まれた鉄路と駅舎や  
橋と川などが、両手ですくい  
取れそうに小さく眼下に広が  
っている。山裾から吹き上げ  
る風が湧き出た汗をひと吹き  
ごとに拭い去り心地いい。

帰り路、下方にひと際にご  
やかな集団がみえる。集団の  
中心には赤い法被姿の腰が直  
角ほどに折れ曲がった小柄な  
おばあちゃんがいる。その周  
りを十人ほどの男女が囲みつ  
ぎつきと話しかけているが、お  
ばあちゃんはこの地の方言  
で「にわか漫才」のように軽  
妙受け返し、その一言ひとこ  
とにドツと笑いがおこる。帰  
りの列車が気になりながらも  
すっかり足が止ってしまった。  
やがて笑い声が後方に遠ざ  
かると、またあたりは少し静  
かになり、つくつく法師の息  
の長いなき声が聞こえはじめ  
た。

一団の去った後の広場には、  
芭蕉がこの地で詠んだ句碑が  
像とならんで建っていた。

閉けざや岩にしみいる蟬の声

後に聞くところによれば、法被姿  
のおばあちゃんは、テレビでも幾度  
か紹介された有名なガイドさんで、  
当時八十数歳とのことだ。

次回 京都東寺 五重塔

### 囲碁倶楽部より

去る7月23日(土)の高退協囲碁大会  
は、参加者少数で大会までにはなりま  
せんでしたが、参加者は久しぶりに囲  
碁を楽しみました。

高退協囲碁倶楽部では、山原健二郎  
資料館3Fをお借りして、毎月曜日を  
定例日として、交流会を実施していま  
す。

初心者の方にも丁寧に教授します  
ので、多くの参加をお待ちしていま  
す。尚、参加する場合は下記まで連絡  
して下さい。

森下清二郎 TEL 0889-24-5964

この紙面のカットは、市川まささん(八千代市在住)  
に寄稿していただきました。